作・演出＝柴幸男（ままごと）　舞台美術＝杉原邦生（KUNIO）

妥協点P

■日 時／平成28年9月22日［木・祝］午後2時開演（開場は30分前）
■チケット販売開始／7月22日［金］9時30分
■料 金／一般…2,000円（当日2,500円）　高校生以下…1,000円（当日同料金）　ペア…3,000円（前売のみ）
※全席自由　※未就学児入場不可　※電話予約可　※ＷＥＢ予約可（三股町立文化会館WEBサイト）
※大学生以下＝入場の際「学生証」の提示をお願いすることがあります
■出 演／劇団うりんこ（牧野和彦、藤本伸江、宮田智康、平山真由美、岩越由花）
■会 場／三股町立文化会館（〒889-1901 宮崎県北諸郡三股町大字樺山3404-2）
■主 催／三股町・三股町教育委員会
■お問い合わせ、チケット取扱／三股町立文化会館 TEL 0986-51-3462　http://www.town.mimata.lg.jp/bunka/

劇団うりんこ　うりんこ劇場

妥協点P

There is Room For Compromise.

そこは、高校の図書準備室。
ホコリをかぶった本たちがうず高く積み上がる。
めったに人がやって来ないこの部屋は、
大っぴらにはできない
"生徒指導"を行うにはうってつけの場所。
発端は、ある生徒が書いた学級劇の台本。
そこに描かれていたのは恋人たちの物語。

もしそれが異国の王子と姫ならば
問題はなかった。
問いかける教師。答えない生徒。
この一冊の台本から、
他者と自分の、
現実と理想の、
今日と未来の、
自分自身との、妥協点を探す旅がはじまる。

自分の思う通りにならない。
相手の思う通りにできない。
だけど、ひとりではいられない。

作・演出＝ 柴 幸男 Yukio Shiba

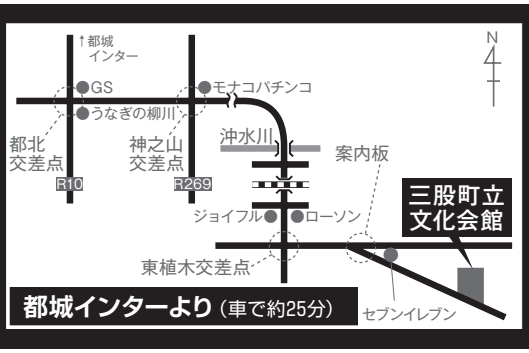
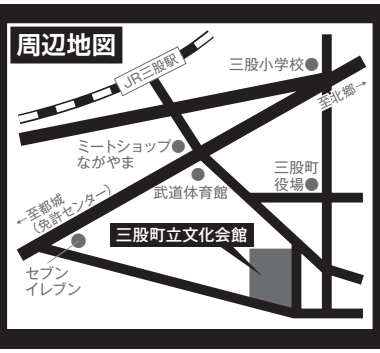
1982年生まれ、愛知県出身。劇作家・演出家・ままごと主宰。青年団演出部所属。「急な坂スタジオ」レジデント・アーティスト。日本大学芸術学部在学中に『ドドミノ』で第2回仙台劇のまち戯曲賞を受賞。2010年『わが星』にて第54回岸田國士戯曲賞を受賞。何気ない日常の機微を丁寧にすくいとる戯曲と、ループやサンプリングなど演劇外の発想を持ち込んだ演出が特徴。全編歩き続ける芝居（『あゆみ』）、ラップによるミュージカル（『わが星』）、一人芝居をループさせて大家族を演じる（『反復かつ連続』）など、新たな視点から普遍的な世界を描く。あいちトリエンナーレ2013『日本の大人』にて作・演出を担当。瀬戸内国際芸術祭への参加、岐阜県可児市での市民劇の演出、福島県いわき総合高校での演出など、全国各地にて精力的に活動している。

舞台美術＝ 杉原邦生 Kunio Sugihara

1982年東京生まれ、神奈川県茅ケ崎育ち。演出家、舞台美術家、KUNIO主宰、木ノ下歌舞伎企画員。EXILEファンクラブ"EX FAMILY"会員。2004年、自身が様々な作品を演出する場として、プロデュース公演カンパニー"KUNIO"を立ち上げる。こまばアゴラ劇場が主催する舞台芸術フェスティバル<サミット>ディレクターに2008年より2年間就任、2010年から3年間KYOTO EXPERIMENTフリンジ企画のコンセプトを務めるなど、持ち前の「お祭好き」精神で活動の幅を広げている。2012年愛知芸術文化センター開館20周年記念 パフォーミングアーツ公演『金の文化祭 in AICHI ～Golden Anniversary～』にて構成・演出を担当。2013年フェスティバル／トーキョー主催プログラム／木ノ下歌舞伎公演『東海道四谷怪談 - 通し上演 -』にて演出を担当。

photo by Takashi Horikawa

スタッフ
作・演出＝柴 幸男（ままごと） 舞台美術＝杉原邦生（KUNIO）
照明＝御原祥子 音響＝四方あさお 衣裳＝さくま晶子 舞台監督＝牧野和彦
宣伝美術＝加藤賢策・内田あみか（LABORATORIES） 撮影＝清水ジロー

三股町立文化会館

■会場／三股町立文化会館
〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町大字樺山3404-2
■主催／三股町・三股町教育委員会
■お問い合わせ・チケット取扱／三股町立文化会館
TEL.0986-51-3462
※電話予約可 休館日（月曜日）を除く午前9時～午後5時
※WEB予約可 http://www.town.mimata.lg.jp/bunka/